

2026
Sep.
VOL. 16



なのはな生協

NEWS LETTER



ピースアクション2026 ～平和を願う心を受け継ぐ～

7月23日、夏休み平和企画『予科練平和記念館へ行こう』を実施しました。なのはな生協では、平和を願い共に考えるための活動を創立当初より続けています。予科練とは「海軍飛行予科練習生」及びその制度の略称で14～17歳前後の少年を対象に航空兵（パイロット・偵察員など）の基礎教育を行い、将来の航空特務士官を育成し、制度開始から終戦までに約24万人が入隊したそうです。



今回の企画は、特攻という運命を背負うことになった未来ある若者たちが遺してくれたものに触れ、大人も子どももそれぞれが感じ考えられたらとの想いからでした。当日は二十四節季でいうところの大暑。当時、飛び逝く少年たちも同じように夏の空を見上げていたのだろうかと思いを馳せながらの出発となりました。

記念館に並ぶ、選ばれた優秀な少年たちのあどけない笑顔、真剣なまなざし。7つの展示部屋のうち「窮迫」では上空を戦闘機が飛び目の前には爆弾が落ち、その恐怖が迫ってきます。「特攻」は1万9千の星に包まれる眩い部屋。それは、予科練出身で犠牲となった少年の御霊と同じ数。そして、家族へ宛て綴られた手紙。私は考えます。志願し、望んで逝くのだと書かれた言葉に接すると、本当の胸の内はどうだったのだろうか。きっと言葉にできない想いがあったことでしょう。同時に、思うのです。彼らの最期の言葉にきっと嘘はない。順番が来ることが分かっている。その時に人は「来ませんように」とは願えないのではないかと。自身や遺される家族の心を保つため「私は望んで逝くのです」と自らの心を誘導するのではないかと。だから、『そのような空気』にならないように、誘導されることがないように、私たちは敏感に、慎重に、見極め、行動していかなければならないと思います。教育が大切、その教育を司るものの方向性が大切。「今、国と国の戦いになれば、若い青年が生き延びていくことはできないのです。国のために一生懸命戦って靖国神社へ行きます」「我々が死んで皆様が幸福になられたら何で惜しみましょう」これらの言葉を忘れることができません。この重い言葉を受けて、私たちに何ができるのか。これからも平和を願い、考え続けていきたいと思っています。

(理事 岸野)



～平和への願いを未来へつなぐ～



なのはな生協では「平和の大切さ」と「命の尊さ」を次世代へつなぐ活動を続けています。被爆から80年以上が経ち、平和への願いを未来へつなぐため、組合員の皆さんから戦争・被爆体験の声をお寄せいただきました。

今回はその中から2つ、戦争体験をご紹介します。

*いただいた原文のまま掲載いたします。

2年前に86歳で亡くなった母は満州からの引き揚げ者でした。私は当時の様子を祖母から毎日のように聞かされ育ちました。敗戦時、祖母の夫はシベリアに抑留中で、祖母は3人の幼い子を連れ日本に帰る自信がなく、幼い母を親しくしていた現地の中国人に預けました。しかし引き揚げ直前に思い直し、引き取りに行ったそうです。母は泣きながら飛びついてきたと言っていました。船に乗り込むまでの苦労は筆舌にし難く何度も死を覚悟したとのこと。顔や歯を真っ黒に塗って逃げたこと民家の屋根裏に隠れたときはロシア兵に銃剣で何度も天井をつかれたこと、泣く赤ん坊を母親がそっと首を絞めたこと、途中で病気になり、麻酔無しで開腹手術を受けた際の壮絶な痛みなどです。私は戦争が怖くて震えながら育ちました。実母から捨てられたような記憶は母を生涯苦しめ、幼い私にも辛くあたり、戦争が何代にも渡って人間を苦しめ続けることを実感しました。(宮下さん)

「父ちゃん 私の紐解（七・五・三）迄には帰って来てね」

駅の改札にしがみ付いた六歳の私は何度も大声で叫びました。軍服の父が窓を開けた汽車の中で手を振っています。この日から我が家は祖父母、母、六歳の私と二歳の弟の5人の暮らしが始まったのです。

これより前に母は兄と弟2人を戦地に送っていました。伯父は陸軍叔父、父達は海軍でした。一年生になった私がある日学校から帰ると、母と祖母が泣いていました。伯父の戦死の知らせがあったのです。陸軍の伯父は故障した戦車を修理中に突然動き出したそれに轢かれた大怪我が元で亡くなったそうです。先だ小さな息子を案じた手紙がありました。

戦況はどんどん悪くなり、学校に行っても勉強の記憶はありません。警報が鳴り渡り九十九里に敵の艦隊が上陸すると言う話を大人達がしています。その時の為に竹を切り、先を尖らせて立ち向かう訓練をしていました。警戒、警報のサイレンが鳴ると家の中にも居られません。祖父が庭の隅に掘った防空壕に逃げ込むのです。

夏休みに入ったある日、大事な事が放送されると近所の人が集まりました。放送を聞き終った人達は涙を拭きながら帰って行きました。

蝉の声が一際大きく聞こえ、真青な大空には戦闘機（B29）も飛ばず静かで広大な空間が広がっていました。私は「あー、戦争が終わった」のと体が震え、心は何とも言えない安らぎを覚えました。(昔を思い出しながら書きました。孫が少し手伝いました。)

(ペンネーム マコちゃん)

活動予定

詳細はホームページへ

9月 8日(火) 西部北エリア会「翹ぐくしパーティー」

9月12日(土) こうざき自然塾「稲刈り体験」

10月24日(土) なのはなメッセ



発行

なのはな生活協同組合

編集

なのはな編集委員会

千葉市稲毛区長沼原町678-2

TEL 043 (216) 7087

FAX 043 (215) 0510

info@nanohana-coop.or.jp

夏休み親子企画 ～持続可能な未来を目指すこと～

7月31日に開催されました「クアントバスタと一緒に世界に一つだけのマイ箸作り」に小1と年少の子ども2人と参加させていただきました。参加した理由は、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしたかったこと、そして以前から「木育」に興味があったことです。木に触れることで五感が刺激され、環境への関心にもつながると感じていましたが、「木は良いもの」という漠然としたイメージしか持っていませんでした。今回クアントバスタの中田社長のお話を聞き、自分が木や自然について何も知らなかったことに気付かされました。

特に印象に残ったのは、水の循環のお話です。海水が蒸発して雨となり、山へ降り注いだ雨が川を流れて再び海へ戻るという自然の循環の中で、水を汚せば汚れた水も循環してしまうこと。そのため、水を大切に使い、土に還るものを選ぶこと、そして山を守ることが綺麗な水を守ることに繋がると知りました。また、日本は森林が豊かな国でありながら木材自給率は約42%と聞き、とても驚きました。

国産材を使うことは日本の山や林業を守り、豊かな自然を未来へ繋ぐことなのだと納得しました。「一人ひとりの力は微力でも無力ではない」という言葉はとても心に残り、その思いを持つ人が一人でも増えたらいいなと私も共感しました。

子どもたちには少し難しい内容でしたが、これからマイ箸を使う中で、興味を持ったタイミングに合わせて伝えていきたいと思えます。持ち帰った箸は「持ちやすい!」と喜び、毎食「木のお箸で食べる!」と嬉しそうに使っています。自分で作った箸だからこそその愛着や自信にも繋がり、食育という面でもとても良い経験になりました。貴重な機会をありがとうございました。

(参加者 橋口さん)



中田社長と一緒に創作中

香害の学習会 ～思いやりで変わる暮らし～

7月9日、日本消費者連盟の水野玲子さんを講師に迎え、オンラインで香害学習会を開催しました。香害とは、柔軟剤や制汗剤、香り付きの合成洗剤などのニオイによって引き起こされる健康被害のことです。また、これらに含まれるプラスチック製マイクロカプセルによる影響も問題となっています。体臭や口臭、加齢臭は香害には含まれません。近年では「新しい空気公害」とも言われています。

香害をもたらす製品の1位が柔軟剤、2位が香り付き洗剤です。特に多い健康被害は、頭痛、吐き気、思考力低下で、30代から40代の女性に多く見られます。また、子どもの香害も深刻な問題となっています。制汗剤や柔軟剤の香りが原因で体調不良や不登校になる子どもが増えています。アロマの精油の中には毒性の強い有機溶剤が使用されているものがあり、有名ブランドの香水からは環境ホルモンが検出されていることもあるため注意が必要です。

柔軟剤には、化学物質の集合体である人工合成香料や毒性が強いとされる陽イオン界面活性剤が使用されているほか、柔軟・抗菌成分、安定剤、防腐剤なども含まれています。さらに、マイクロプラスチック（以下、Mps）が使用されており、熱や汗、水、圧力、接触などの刺激によってカプセルが割れ、香りや消臭成分が放出される仕組みになっています。また、Mpsよりさらに小さい、1000分の1の大きさのナノカプセルが数多く含まれており、細胞まで入り込むと言われています。洗濯時には8割以上が下水へ流れ、水や空気、人体

を汚染します。Mpsは柔軟剤だけでなく、人工芝やごみ焼却炉、農業用マルチシートなどからも排出されています。

香害で苦しんでいる人は、周囲から理解されにくいのが現状です。「香害で苦しんでいる人がいるかもしれない」そんな想像力と思いやりが、柔軟剤や強い香りのものを使わない選択をすることや香害について周囲に伝えていくなどの行動に繋がるのではないのでしょうか。体内に取り込まれたMpsは排出されにくいと言われています。だからこそ、このような行動は、自分や家族、大切な人の健康を守るだけでなく、地球環境をより良い状態で次の世代へ引き継ぐことにも繋がるのだと思います。

これを機に、人にも地球にも優しい石けん洗剤を使う暮らしに変えていきましょう。

(理事 鈴木)

おすすめの石けん洗剤一例



私のお気に入り ～秋川牧園～

私のオススメの商品は、『砂肝ゆずこしょう炒め』です。砂肝自体の臭みもなく、コリコリとした触感もよく、ゆずこしょうと醤油ベースのタレも丁度よい濃さでそのまま炒めるだけでおつまみになります。また、お野菜と一緒に炒めると、子どもたちもパクパク食べられる一品料理になります。我が家の子どもたちは、幼少の頃は『秋川牧園』のチキンナゲットをよく食べていましたが、少し大人になったのか、今はこの砂肝に夢中です。皆さんもぜひお試しください。(理事 辻)



秋川牧園 砂肝ゆずこしょう炒め

120g 300円(税込324円)

* 次回は9月4回の商品案内に載ります



なのはなメッセ 2026

～つなげよう私たちの想い To the Future!～

イベント情報

VRを使ったシュミレーション体験 & ベジチェック!

* VRを使ってリアルな体験を感じられます。さらにご自分の野菜摂取量が測定できます。

クイズラリー

* 各業者に隠された秘密を聞き出して景品をゲットしよう!

目指せ! 一流組合員!!

* 市販品と食比べてなのはな商品を当てよう!

ステージイベント 11:00開始

トークイベント 毎日をエコ活動に

* 今、私たちにできるエコ活動を3名の生産者が教えてください。

ステージイベント 12:30開始

10月24日

10時から14時

幕張メッセ 国際展示場8ホール

